

平成26年度 第1回函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 平成26年7月16日(水) 15時～17時
- 2 会 場 函南町立図書館 2階 研修室
- 3 出 席 者 委 員 山邊 義彦 学校教育関係者
辻 真人 学校教育関係者
富永 和彦 学識経験者
今泉 良三 社会教育関係者
森 多美子 家庭教育活動者
石田 和久 学識経験者
中村 忠和 社会教育関係者
教育長 矢田 長春
事務局 酒井 篤
大沼 裕幸
西澤 文雄

4 公開・非公開 公 開
の 別

5 傍聴人の数 0人

6 内 容

- (1) 委嘱状交付 (中村忠和 様)
- (2) 矢田長春教育長 挨拶
大沼裕幸館長 挨拶及び図書館協議会の設置及び趣旨説明
- (3) 報告事項 大沼館長より説明した後、各委員より意見を伺った

① 図書館の利用状況について

平成25年6月までと平成26年6月までの利用状況を比較すると、来館者数（図書等の貸出返却をしない人数）については若干減少していますが、利用者数（図書等の貸出返却をした人）については増加傾向にあります。貸出冊数についても昨年より増加傾向にあります。

パソコンの利用については、昨年度第2回の協議会で委員より状況を確認したいとのご意見がありましたので記載させていただきました。

パソコンの利用についても昨年より利用者数は増加しています。

利用状況について細かく分析すると、40歳以上の利用人数、利用冊数はかなり増加傾向にありますが、7歳から12歳の利用人数、利用冊数が落ち込んでいることがわかります。このことについては学校司書と連絡を取り、状況を把握して改善を図っていきたいと考えています。

平成25年度の地区別利用状況については、図書館から遠方のダイヤランド地区の利用が多いことがわかります。

町内、町外の貸出冊数を比較すると、町内83%、町外17%の割合となっています。

オンラインデータベースの利用統計については、徐々にではありますが利用が増えてきている状況です。

各委員より

委員 東駿河湾環状道路の開通により、利用者の増加が期待できるのではないかと。
事務局 平成26年6月に裾野市との協定を締結し、さらなる利用者の増加を期待しているところです。

委員 他の公共図書館は場所によって有料駐車場に止めなければならない所もあるが、函南町立図書館の駐車場は今年度拡張されて、尚且つ無料であることから利用者がもっと増えると思います。

委員 相互利用について、図書室の頃は清水町、三島市、沼津市の公共図書館を利用していましたが、函南町に図書館ができたことで、逆に清水町や三島市、沼津市の人々が函南町の図書館に来てもらえてることが嬉しく思えます。

委員 小学生の利用が落ち込んでいるという説明がありましたが、小学校の図書室の利用は多いと感じています。学校も積極的に読書推進に取り組んでいますので、総合的に読書推進の効果は上がっていると感じています。

委員 機会均等の観点から丹那・桑村小学校区の図書セット貸出の計画もあるようなので、積極的に実施していただきたい。

② 4月～6月までの事業実施状況について

平成26年4月13日に知恵の和館1周年記念式典を行いました。
視察ではカーマン市訪問団が来館しました。事業・イベントについては昨年12月から実施しているブックスタートを継続して実施しています。また、4月23日の子ども読書の日に伴い記念イベントを実施しました。
展示・広報については、特集するテーマを毎月考え館内に展示しています。また、ボイスQで図書館だよりというコーナーを設けていますので、毎月第2水曜日に生放送で図書館のイベント等を広報しています。
さらに、今年度から「函南図書館だより」を毎月発行しています。
おはなし会については、毎週火曜日・木曜日を基本として実施しています。ボランティア関係では、音訳ボランティア養成講座を開催し、実際に録音も行ってもらっている状況です。また、今年度から読み聞かせサポート隊を結成し、学校での朝の読み聞かせをサポートする事業にも取り組んでいます。5月からは中学生の職業体験、函南中学校の新任教諭研修、小学生・中学生の図書館見学を実施しました。

各委員より

委員 ボイスQではどんな内容のことを放送しているのか。

事務局 5分くらいの時間ですが、特集展示の内容、イベントの紹介、おはなし会の予定等を広報しています。

委員 毎月第2水曜日の何時から放送しているのですか。

事務局 14時40分くらいから放送しています。

委員 外部からの視察を受け入れてるようですが、感想なりアドバイス等の説明

はされているのでしょうか。

事務局 今のところは意見交換する視察ではなく、図書館の中を見学したいという
ような視察なので、説明等は求められていない状況です。

③ 平成25年度の資料購入状況について

平成25年度は一般書、児童書、雑誌、視聴覚資料、地域資料の合計で24,219点。金額で38,937,611円購入しました。これにより平成25年度末の資料数は112,234点となりました。除籍数が11,699点ありますが、図書室から持ってきた図書で貸出に耐えられない図書が大部分であり、この除籍した図書は、そのまま廃棄した訳ではなく、リサイクルとして利用者に提供しました。

今後の蔵書構築計画については、最終目標の15万点に対し平成25年度末で75%くらいの達成率となっています。

目標達成の時期については平成33年度（開館9年目）には達成できる見込みとなっています。

地域資料についての補足ですが、図書館流通センターでの購入ではなく、直接町内の書店、当館周辺の書店にて購入しています。

各委員より

委員 本を貸出して返却されない本はどのくらいあるのですか。

事務局 昨年度の蔵書点検を実施した結果、不明本については14冊でした。

(4) 協議事項 大沼館長より説明した後、各委員より意見を伺った

① 平成26年度の事業計画について

読み聞かせの訪問実施について、読み聞かせサポート隊を結成したので、町内の学校及び町内各所で実施する読み聞かせのサポートを実施しています。ブックスタートについて、今年度も7ヵ月時の健康相談時に実施しています。図書館講座・講演会については、しおり作り、工作教室を計画しています。また、11月3日に県立こども病院塚田氏による講演会、12月20日の冬休みわくわくまつりの際には「100かいだてのいえ」の作者である「いわいとしお」氏によるワークショップを計画しています。

園児・児童・生徒の受け入れとして、学校教育課と連携を図りながら積極的に対応していきます。

教育施設等への図書資料のセット貸出について、昨年度計画していましたができませんでしたので、今年度は実施したいと考えています。

図書館だよりの発行については、図書館事業、新着図書や身近な資料の話題を掲載していきたいと考えています。学校に対しては、小学校向けの図書館だよりを発行する計画をしています。

周知という面で3歳から5歳時向けのブックリストの作成を計画しています。

「絵本のリユース（再利用）に参加しよう！」という事業を企画しました。絵本の知識や面白さを継承するきっかけづくりとして計画しています。

議長 協議事項については共通する部分もありますので①平成26年度事業計画と②その他図書館事業全般についてと合わせて協議したいと思います。

各委員より

委員 図書館のおはなし会で読み聞かせをした人が、学校のおはなし会でも読み聞かせを実施したところ、子どもたちから声をかけてきてくれたことに親近感を感じることができて嬉しかったとの報告を受けました。

委員 図書館だよりについて、7月号を見るとジオパークをはじめ、夏休みの宿題を意識している内容が掲載されているので、非常に良いものになっていると思います。

委員 図書館だよりを今回初めて目にしたが、もっと幅広く周知させたほうがよいのではないかと思います。

事務局 広く周知させる方法を検討していきたいと思います。

委員 中学生・高校生の利用率について、夏休みに講座等企画し、なるべく足を運んでもらえるような企画を考えて欲しい。

事務局 夏休み期間中は研修室を開放して、学習できるように今年も実施します。

委員 図書館で何か困っているとか問題があったことはありますか。

事務局 5月の暑かった日にエアコンをなぜ入れないのかという苦情はありました。6月から館内の4か所に温湿度計を設置し、温湿度を管理しながらエアコンをつけています。

(5) その他

事務局 ①規則の中で定めている年末年始の休館について、函南町立図書館の管理及び運営に関する規則第4条休館日の改正を行っています。
当館第4金曜日を館内整理日としていることから、館内整理日と年末年始の休館が間近にある為、年末年始の休館日を29日からとさせていただき改正を進めています。

館内整理日について、毎週第4金曜日としていますが、第4金曜日が祝日にあたる日は、その前日とするということで規則の改正を進めています。

事務局 ②今年度の蔵書点検に時期について、平成27年2月23日から3月4日までと考えています。

事務局 ③図書館協議会の開催時期について、次回の協議会は来年3月頃を予定しています。近くなりましたら事務局から連絡させていただきます。

(6) 閉会